



公正なデジタル市場の形成に向けて

ー市場の構造、弱い立場の利用者保護、個人データ保護等に焦点を当てて

令和8(2026)年 9月17日 (木) 13:30-17:00

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

〔次第〕 ※敬称略

13:30 開会の辞

～13:40 川嶋四郎（司会）同志社大学教授

13:40 基調講演

～14:10 松本恒雄 一橋大学名誉教授
/独立行政法人国民生活センター顧問
「公正なデジタル市場と消費者・生活者」

14:10 公正なデジタル形成をめぐる諸課題

～14:30 林秀弥 名古屋大学教授
「情報環境法としての競争法
ーダークパターンと優越的地位の濫用規制」

～14:50 川和功子 同志社大学教授
「公正なデジタル市場とEU消費者法の動向」

～15:10 佐藤一郎 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報研究所教授
「個人情報保護法の改正ー最新の傾向：技術の視点から」

（休憩 15:10～15:20）

～15:35 長谷河亜希子 弘前大学教授
「デリバリー系労働プラットフォームにおける諸課題：
ゲーミフィケーション、アルゴリズム支配等の問題を中心に」

～15:50 平田貞代 芝浦工業大学準教授/東北大学准教授
「婚活マッチングアプリとデジタル倫理
ーブラックボックス化されたレコメンデーション機能と情動的自己決定権」

～16:05 平山幹子 関西学院大学教授
「プラットフォームと媒介者責任ー刑事法の観点から」

～16:20 佐藤義明 成蹊大学教授
「デジタル難民の発生を防止する義務ー国際法の観点から」

16:20 質疑応答

16:50 閉会の辞 田中教雄

熊本学園大学教授/九州大学名誉教授

✓一般参加可能
✓参加費無料
✓事前予約不要



主催：法学委員会・ICT社会と法分科会

後援：成蹊大学Society 5.0研究所

同志社大学デジタル法制研究センター、同志社大学法と社会政策研究センター

「デジタル取引における消費者の脆弱性を踏まえた保護の在り方に関する比較法的研究」（2026年度基盤研究(B)）、「デジタル化社会における多様化した消費者取引に対応した法制度についての比較法的研究」（2026年度基盤研究(C)）

「情報空間の秩序形成に向けたデジタル社会の再構築ーAI時代の法秩序構想」（2026年度基盤研究(B)）

「民事手続における『ユビキタス・アクセス権』の創造的構築に関する基礎研究」（2026年度萌芽研究）